

第38回療育研修会プログラム

2014年9月21日

(時間配分)

1	開会宣言		高尾(総合司会)	
2	退会挨拶	黙禱、挨拶 (鈴木剛二様) ・ 御礼	藤田	5
3	会長挨拶		藤田	2
4	来賓紹介		高尾	2
5	来賓挨拶	病院来賓	療育指導課長(伊熊様)	5
6	連絡事項	事務連絡	企画課専門職 鈴木様	5
7	来賓退出		高尾	1
8	ゲスト入場・紹介	わかくさ保護者会、さくら会 (三国交流会)	高尾	1
		ゲスト挨拶	各代表者	5
9	病院より	1病棟の生活近況報告	副看護師長(伊藤様)	5
		2病棟の生活近況報告	看護師長(井出様)	5
		療育および行事活動報告	主任保育士(河合様)	5
10	休憩			5
11	グループディスカッション	2つのテーマから話しやすいもの(両方でも可)	藤田	45
	テーマ1	両親(特に父親)・兄弟・親族から見たこの子への思い ~本音を語る会~ ・子供に対する正直な気持ち ・親兄弟としての思い ・不安や悩みを打ち明ける ・近頃の問題点		
	テーマ2	保護者会への加入率、定例会参加率を上げるには ・新規加入者の勧誘の成功方法は ・父親を参加させるには ・参加してみたいと思わせる定例会とは		
	チーム分け	Aグループ リーダー: 川井 記録係: 曾根 メンバー: 外山 鈴木ケイ子 柿田 塚本 白柳 平井 藤田 廣瀬 Bグループ リーダー: 高尾 記録係: 小松 メンバー: 福島奥様 渡瀬 高瀬 大川 大竹 小松奥様 田中 坂崎 Cグループ リーダー: 原 記録係: 榊原 メンバー: 福島 野口 飯田 堀尾 斎藤 丹羽 田端二名		
12	発表	Aグループ	曾根	2
		Bグループ	小松	2
		Cグループ	榊原	2
13	総評		福島	2
14	指導室より		藤森室長	5
15	ゲストの方々より	わかくさ保護者会、さくら会	各代表者	5
16	事務局より		川井	2
17	閉会宣言	15:00終了予定	高尾	

天竜やまゆり保護者会『療育研修会』報告／連絡

天竜やまゆり保護者会

会長：藤田明宏 事務局：川井

★ 第38回『療育研修会』報告★

平成26年9月21日（日）13時～15時半 天竜病院・療育棟3階大会議室

<天竜病院>

伊熊療育指導科長（院長代理）、鈴木専門職、井出2病棟看護師長

伊東2病棟副看護師長、藤森療育指導室長、河合主任保育士、笠松指導員

計7名

<会員出席者>

病棟：1病棟・17名

2病棟・13名

計30名

<内 容>

来賓者の挨拶、日用品等の報告、病棟の報告、グループディスカッション等がありました。別紙、ご参照願います。

※会の冒頭、8月27日にご逝去された鈴木麻代様（1病棟）のご冥福を祈り、参加者全員で黙祷を奉げました。鈴木麻代様のお父様、鈴木剛二様より御礼の書状を別紙添付させて頂きました。

♪ 保護者会主催 『バザー』について <11月9日・日曜日> ♪

場所：療育棟1階・第1プレイルーム

日用品、雑貨、手工芸品、農産物など、多くの出品と購買をお願い致します。但し、生肉生魚の出品は禁じます。11時までに出品物をプレイルームにご持参ください。

12時～12時15分 職員の方優先タイム

12時15分～13時 皆様方、お買い物タイム

13時 定例会

※「療育研修会」報告の続き

☆ 来賓挨拶 療育指導科長 ☆ 伊熊正光先生

いつもご協力ありがとうございます。質の高いサービスを目指して、今後も努力していきたいと思えます。感染症に対しては、ワクチン接種など予防効果が期待できる事は積極的に行っていきたいと思えます。現場では、ユマニチュード(患者さんの目線に立った、優しいケア技術)の導入を試みています。今後もできる事はドンドン取り組み、生活の質の向上を目指して行きます。引き続きご支援の程よろしくお願い致します。

☆ 日用品費の収支報告 ☆ 鈴木専門職

大きな変動はありませんが、消費税増税分につきましてはご理解願います。別紙にて資料を添付してありますので、内訳等を今一度ご確認願います。

☆ 病棟報告 ☆

♪ 1病棟 伊東副看護師長 ♪

入所者53名、平均年齢34歳。年齢が若い方が増え、医療的ケアの必要な方も増えています。最近では、デイルームでの行事も増えてきて、多くの患者様が参加されています。先日は「ミュージックファンタジー」を病棟で行い、多くの方が参加され、患者様のリラックスした素敵な笑顔や表情を見る事ができました。患者様と気持ちが通じ合うとやりがいも出てきます。尚一層、精進したいと思います。私達には一つだけ叶わないものがあります。それは、ご家族です。ご家族の面会は、患者様の心の支えです。今後とも宜しくお願い致します。

♪ 2病棟 井出看護師長 ♪

入所者 49 名、平均年齢29歳。若い方が増えています。8月には熱発者が多く、面会制限等も行いました。ご協力ありがとうございました。今後も感染が心配される場合は、面会を制限させて頂く事があります。患者様の笑顔が多く見られるように、ご家族と協力して支援していきたいと思えます。引き続き、ご理解とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

☆ 療育及び行事活動報告 ☆ 河合主任保育士

この間、「森林公園」、「プレ葉ウオーク(ショッピングセンター)」、「カラオケ店」等、計画に沿って院外活動を楽しんでいます。家族と一緒にのお出かけでは、いつもは見ることができない満面の笑みを見る事ができます。ご家族の皆様、いつでも活動に参加して頂いて構いませんので、是非、お子様と一緒にご参加下さい。今後も、「変化と楽しみ」のある生活支援に努めてまいります。ご協力、ご支援、宜しくお願い致します。

★グループディスカッション★ ～ 何でも話そう、本音トーク ～

いろいろな意見がありました。抜粋にて掲載させていただきます。

テーマ1：両親(特に父親)、兄弟、親族から見たこの子への思い

- * 若い世代の母親より…障害を持つ子供の事を、兄弟や近所、職場にどのように伝えたか知りたい。
 - 何か言われても障害があるのだと言えばいいのでは。兄弟としては小さい時から子の状況は見てきているから、自然体。他の子供にバトンタッチする事については、押し付けてしまうのではないかと悩む。
 - 親から子への世代交代は必要。親が元気なうちに兄弟にいろいろ引継ぎを。
- * 若い世代への勧誘は、その個人の性格や資質にもよる。
- * 成年後見人は複数設けられる。兄弟はもちろんだが、第三者の弁護士は費用が高く、行政書士は費用が手頃(らしい)。(実際、費用は家庭裁判所が決めるようです)
- * 家族が病気のため介護におわれ、面会が大変。
- * 経管栄養のため、子供は健康優良児。息子に対するジレンマあり。
- * 病院に感謝している。
- * 母が突然に亡くなり、自然に自分が行かなければと思い、今に至っている。
- * 今を頑張るしかない。その時は何とかなるからいつも思っている。
- * 親子で会議等に参加している。親が子供を忘れるといけないし、家に一人で親を置いてくるのも心配。
- * 親が不在となった場合、子供がどうなるかが心配である。
 - 「最後まで看取ってから」と思うこともある。
 - 身の回りの事など、病院が充分できない面を補うために面会に行く。
 - たまには息子に声掛けし、誘うようにしている。
- * 体が持たず、後見人としていつまでできるか。子供たちは遠くなるので後見人にはなれにくい。娘や息子たちにやってもらうのはいい事。自分も息子と暮らす事になった。
- * 後見人が決まっていない。
 - 娘や息子たちに頼む方が良い。前もって話をしておく事が大切。
- * 子供は一人なので、別の方法を考えなければならない。
- * 自分が長生きできるのは、この子のおかげである。

テーマ2： 保護者会への加入率、定例会参加率をあげるには

- * 定例会の出席人数が少なく残念だ。
- * 定例会に参加できるのは、他のお母さん達の声掛けが励みになっている。
- * 定例会などの集まりから、情報を取得できる。
- * 新規入院者の情報が個人情報保護法などから、入手しづらい。
- * 保護者会の案内文をもっと魅力的にさせる。写真などを用いて。
- * ホームページを立ち上げて、若い人を呼び込む。

<新規加入者の勧誘の成功方法は>

- * 子供の事を思えばでてくるのではないか。でも、なかなか難しい。
- * 勧誘が必要。
 - 日時を決めて、参加を呼びかける。
 - 集合場所や食事の場所等を教えてあげる事が大切である。
 - 父母の家が無くなった事がマイナスである。
 - 同じような場所を確保するよう、病院に掛け合いが必要か。
 - 文書を送っても、見ない人も多い。
 - 不安を取るための声掛けが必要である。
- * 入所者の事を全て病院に任せる人が多く、保護者会にも加入しない。
 - 昔は半ば強制的な面もあったと思うが今は違う。不公平さを感じる。
 - 人数バランスが崩れると保護者会の解散もあり得る。
- * 『連絡網』の機能が不十分である。伝達を確実にする必要がある。連絡がなく病院へ来て、『面会制限』と言われて困った(2回)。
 - 連絡網で電話しても出ない方も多い。やむを得ず夜遅く電話した。

<父親を参加させるには>

- * 父親同士の声掛けが必要である。夫婦で声掛けしても難しい。
- * 子供と一緒に来たらよい。
- * 出掛ける途中で話やカラオケ等もできる。
- * 必ず来るという気合が必要である。

<参加してみたいと思わせる定例会とは>

- * 参加しやすいイベントを行うより、やり方を変えたらどうか。
- * 行事を行う役員が大変である。
 - 行事を行うための『プロジェクト実行委員会』を作ったらどうか。

<総 評> 福島幸夫様 (2病棟)

3つのグループに別れてのディスカッションでは、子供に対する正直な気持ちを言い合えて本当に良かったと思います。保護者会も代替わりし、スムーズに行っていると思います。良い研修会ができたと思います。ありがとうございました。

★ 連絡事項 ★

- 『三国病交流会』（静岡県内で重症心身障害病棟を持つ国立病院の保護者交流会）を同日11時より、療育棟第1プレイルームで開催いたしました。

静岡てんかん・神経医療センター「わかくさ保護者会」8名、静岡県重症心身障害児(者)を守る会理事 田中様、藤田会長以下4名、藤森室長 計14名参加。

- * 病棟見学・案内
- * 病棟生活や療育活動の様子～藤森室長より
- * 会食しながら意見交換会
- * 療育研修会への参加

～「わかくさ保護者会」八木会長より～

熱心な話し合いに感心いたしました。入所している子供達が「幸せだ」と思ってもらう事が一番だと思います。皆さんと共に、頑張っていく事を心に刻む思いをしました。ありがとうございました。

- 11月15,16日「守る会」東海北陸ブロック会が名古屋にて開催されます。参加希望の方は10月20日までに事務局の川井までご連絡下さい。
- 病棟・病院より：「家族面談」へのご協力ありがとうございます。皆さまのご協力により、両病棟とも順調に行う事ができております。9月末まで行いますので引き続きよろしく願いいたします。徐々に秋めいており、インフルエンザ等の「感染」が気になる時期が近づいてまいりました。手洗い等の感染予防につきましては、引き続き、ご協力願います。病棟においては、感染拡大を阻止するために、急に「面会」を制限させていただく場合があります。面会を予定されている方は、事前に病棟へ連絡していただくとありがたいです。小さなお子様、お孫様をお連れの場合、そのお子様の体調によっては、別室(家族控室等)で待っていただく場合があります。ご理解の程、ご協力よろしく願い申し上げます。

< 以 上 >